

# 【茨城県から世界へ！ JICA 海外協力隊】

## 2023 年度 4 次隊 茨城県各自治体への表敬訪問

### 5 年ぶりに帰国隊員表敬も同時実施

国際協力機構（JICA）は、2024年4月～5月に茨城県から3名のJICA海外協力隊員を2023年度4次隊として派遣いたします。隊員は、任国への出発を前に、下記のとおり茨城県知事及び市町長を表敬訪問いたします。併せまして、開発途上国での2年間の活動を終えて2023年度に帰国したJICA海外協力隊員の帰国時表敬訪問についても同時に実施いたします。つきましては、貴社媒体にて、茨城県から世界へ飛び立つJICA海外協力隊を県民の皆様にご紹介いただけましたら誠に幸いです。

#### 1. 表敬訪問日程

(敬称略)

表敬先	日時・場所	表敬者
茨城県 副知事 横山 征成	2024年4月12日（金） 11：00～11：30	同県 JICA 海外協力隊員 3 名 内藤 紗花、金井 美紀、金 希美  帰国隊員 4 名 安島 博堂、田中 亮、佐々木 裕 柴 将人
稲敷市 市長 筧 信太郎	2024年4月11日（木） 11：00～11：30	内藤 紗花
つくば市 副市長 松本 玲子	2024年4月16日（火） 11：00～11：30	金井 美紀
城里町 町長 上遠野 修	2024年4月17日（水） 11：00～11：30	金 希美

#### 2. JICA 海外協力隊 リスト

##### (1) 2023 年度 4 次隊 派遣前隊員 3 名

隊員区分	氏名	職種	国名	配属先
青年海外協力隊	内藤 紗花	バイオ テクノロジー	パラオ	パラオコミュニティ

				カレッジ 共同研究・普及部
<p>【活動内容と抱負】</p> <p>国際協力には高校生のころから興味を持ち始めました。大学・大学院で研究をしながら専門的なことを学んできたのでその経験をどこかに還元したいという気持ちがあり今回、協力隊への参加を決めました。私は、パラオ唯一の高等教育機関である短期大学の共同研究・普及部で活動予定です。同僚とともに生物資源の試験研究をしながら、それに使用する科学機器の使用手法や管理方法について指導や手順書の作成を行います。現地のニーズをとらえて同僚と相談しながら様々なことに挑戦していきたいと思えます。茨城県を農業の盛んな地域としてPRし、パラオの人々に日本の茨城という場所を知ってもらえたらいいなと思えます。</p>				
青年海外協力隊	金井 美紀	食用作物・稲作栽培	ウガンダ	ブリンディ地域農業調査開発研究所
<p>【活動内容と抱負】</p> <p>中学生のときにパレスチナで起きている問題に衝撃を受けて海外の問題に興味を持ち始め、国際協力に携わりたいと思うようになりました。海外の問題に関心を寄せる一方で、大学時代の専攻である農業分野において国内にも多くの問題があることを目の当たりにしました。日本が直面する問題の解決策をアフリカなど海外から学べるものが多くあるのではないかと、協力隊の進路に進むことを決めました。2023年4月から2024年1月上旬まで、JICA 筑波で研修員受入事業の一つである「天水稲栽培・種子生産及び品種選定技術」コースという、主に稲作の研究者を対象とした研修に参加させていただきました。ウガンダは内陸国で海がないため、大洗や那珂湊、日立など茨城県の海岸地域も紹介したいです。</p>				
青年海外協力隊	金 希美	環境教育	タンザニア	バガモヨ県庁廃棄物管理課
<p>【活動内容と抱負】</p> <p>協力隊に興味を持ったきっかけは、インフラの整備士として青年海外協力隊を経験したことがある方と偶然出会ったことでした。大学在学中に就職活動をしていましたが、本当に自分がしたい仕事を見つけられず悶々としているときに、ふと出会った方を思い出し、私もチャレンジしたいと思い青年海外協力隊に応募しました。派遣先のタンザニアでは観光地化が進む一方でゴミの問題が顕著になっています。美しい自然を保ちながら観光産業で発展していく、そして何よりも地元の方の生活に寄り添った環境問題の解決方法を見出したいです。私は日本の音楽と食べ物がとても好きなので、それらを通じて日本のことを知ってもらえたらと考えています。</p>				

(2) 2023 年度 帰国隊員 4 名

隊員区分	氏名	職種	国名	配属先
青年海外協力隊	安島 博堂	自動車整備	ルワンダ	南部県ギサガラ郡カブム職業訓練校
<p>【活動報告】</p> <p>異文化の中に身を置くことによって、広い視野と対応力を養うことができました。また、自分自身の視野を広げるだけでなく、日本における社会課題や解決策についても考えるきっかけとなりました。配属先に赴任当初は、現地教員の実践的なスキル不足を補うため、実習を中心に授業に参加して正しい自動車整備の教育に力を入れてきました。活動の終盤になって、程度の良い実習車が納入され、最後の約3ヶ月間は正しい自動車整備手法を教えることができました。備品の盗難や紛失、工具の扱い方に課題があり、日本で行われているようなハサミを使った工作や倫理教育の重要性を実感しました。そのため、生徒自らが教科書やインターネットから情報を得る機会を提供しました。2年間の活動を振り返り、できたことやできなかったこと、まだ途中の課題などがありますが、私自身と配属先の双方が成長できたと感じています。</p>				
青年海外協力隊	佐々木 裕	理学療法士	マラウイ	リロングウェ県リロングウェカムズ中央病院

<p>【活動報告】</p> <p>入院患者への直接的な治療と同僚へのプレゼンテーションなどの技術指導の他に、車いすの修理やポスター制作など環境を変えていく間接的な活動ができました。配属先はマラウイの中枢病院であり、多くの患者が無償で医療を受けられる反面、手術待ちの長さや限られた物品での治療という、日本との差異や開発途上国の問題に直面し悩む場面も多くありました。ここではこれが当然であり、文化や環境の違いに戸惑いながらも活動に邁進できました。マラウイの医療事情や患者を助けたいと思い活動してきましたが、逆に多くの面で現地の人々に助けられたと感じています。2年間の中で自分自身も成長でき、国際協力という新たな興味関心も生まれたため、今後の人生でも国際協力について微力ながら貢献して行きたいと思っています。</p>				
青年海外協力隊	たなか りょう 田中 亮	水質検査	カンボジア	シエムリアップ州 公共事業運輸局・下水道ユニット
<p>【活動報告】</p> <p>私にとって、隊員経験は反省点も多いが、とても有益でした。特に、アイデアをカタチにできたこと、日本語以外を使って現地の人達と意思疎通を図りカンボジア文化に浸かることができたこと、カンボジアの魅力を日本に発信し理解促進に貢献できたこと、職種を超えたつながりができ連携して活動できたこと、これら初めての経験を通して自身の成長につながりました。</p> <p>しかし、以上は全て私自身のことであり、「本当に活動を通してカンボジアに貢献できたのか」、「もっと相手側と関係を築けていれば、できたことも多かったのではないか」といった支援のあり方や効果についての葛藤は常にありました。これで私自身の国際協力の活動は終わりにせず、この葛藤を持ち続け今後も国際協力に関わっていくことで、この隊員経験を意味あるものにしていきたいと思います。</p>				
青年海外協力隊	しば まさひと 柴 将人	障害児・者支援	ベトナム	ハノイ 児童保護局・児童心理療法相談所
<p>【活動報告】</p> <p>隊員として活動したこの2年間は、私にとって有益なものでした。教える子ども達の年齢層や教師達とのコミュニケーションに苦労しましたが、子ども達の成長を見ることができたり、苦手なベトナム語が少しずつできるようになったり、嬉しいことや楽しいこともたくさんありました。配属先に通う子ども達の年齢は2歳から6歳の子ども達で、経験したことのない年齢層の子ども達だったため、想定外の行動があったり、教える内容を考えるにしても補助をするにしても周りの先生達に教わってばかりでした。今後は、教員に戻るつもりなので、SDGs 関連の授業での導入にベトナムでの経験を使いたいと考えています。生徒や同僚の教員達にも JICA 海外協力隊で実際に体験した出来事や感想を伝え、協力隊について知ってもらいたいと考えています。</p>				

### 3. JICA 海外協力隊とは

JICA 海外協力隊は、日本政府の ODA（政府開発援助）の一環として、独立行政法人国際協力機構（JICA）が実施する事業です。「開発途上国の経済・社会の発展、復興への寄与」、「異文化社会における相互理解の深化と共生」、「ボランティア経験の社会還元」を目的としています。

日本国籍を持つ 20 歳～69 歳の方が対象となり、派遣期間は原則 2 年間。日本で培った知識や経験を活かし、開発途上国と国際協力の志を持った方々が、現地の人々とともに生活し、草の根レベルで開発途上国の抱える課題の改善・解決に貢献します。詳細は、JICA 海外協力隊 Web サイトをご覧ください。

<https://www.jica.go.jp/volunteer/index.html>

<p>【本件に対する問い合わせ先】</p> <p>JICA 筑波 連携推進課 菅谷、荒井</p> <p>TEL 029-838-1117 内線 4225</p> <p>E-mail: Sugaya-Shigeyuki2@jica.go.jp Arai.Hanae@jica.go.jp</p>
--